

令和2年度当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

危機管理部

事業名	総合防災情報システム整備費		新規・ 継続の別		継続						
予算額	338,761千円	国庫	起債	その他	一般財源						
		—	299,000	—	39,761						
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣旨・目的 災害対応力の強化を図るため、防災情報システムの機能を強化するとともに、災害時に府民一人ひとりが自らの安全を確保する行動がとれるよう、マルチハザード情報提供システムの情報を随時更新する。</p> <p>2 内 容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>事 業 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合防災情報システム整備事業 (328,620千円)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 防災情報システムに、多言語発信機能や備蓄物資管理機能等を追加するとともに、サーバのクラウド化を実施 <p><整備計画> 令和元年度 システム設計(基本設計) 令和2年度 システム設計(詳細設計)及び構築等</p> </td> </tr> <tr> <td>マルチハザード情報活用促進事業 (10,141千円)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> マルチハザード情報提供システムで提供している地域の災害危険情報を随時更新し、防災マップ作成等への活用を促進 </td> </tr> </tbody> </table>					事 項	事 業 概 要	総合防災情報システム整備事業 (328,620千円)	<ul style="list-style-type: none"> 防災情報システムに、多言語発信機能や備蓄物資管理機能等を追加するとともに、サーバのクラウド化を実施 <p><整備計画> 令和元年度 システム設計(基本設計) 令和2年度 システム設計(詳細設計)及び構築等</p>	マルチハザード情報活用促進事業 (10,141千円)	<ul style="list-style-type: none"> マルチハザード情報提供システムで提供している地域の災害危険情報を随時更新し、防災マップ作成等への活用を促進
事 項	事 業 概 要										
総合防災情報システム整備事業 (328,620千円)	<ul style="list-style-type: none"> 防災情報システムに、多言語発信機能や備蓄物資管理機能等を追加するとともに、サーバのクラウド化を実施 <p><整備計画> 令和元年度 システム設計(基本設計) 令和2年度 システム設計(詳細設計)及び構築等</p>										
マルチハザード情報活用促進事業 (10,141千円)	<ul style="list-style-type: none"> マルチハザード情報提供システムで提供している地域の災害危険情報を随時更新し、防災マップ作成等への活用を促進 										
担当課 担当名	災害対策課 情報・対策担当		課・担当 電話番号	075-414-5618							

京都府総合防災情報システム（仮称）概要イメージ図（R3稼働予定）

課題

(1) 危機管理体制の課題

庁舎サーバ被災による業務継続性

OS保守期限による防災情報システム利用不可

(2) 災害対応力の課題

府災害時応急対応業務マニュアルに基づく業務管理

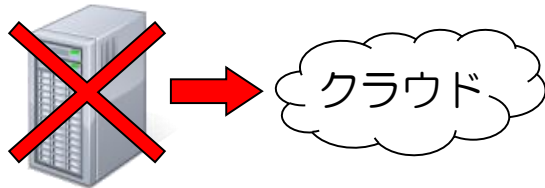
備蓄物資管理

外国人観光客への防災情報発信

総合防災情報システム

新機能

サーバのクラウド化
(強靱化、OS更新不要)



府マニュアル業務の
管理・共有機能



備蓄物資
管理機能



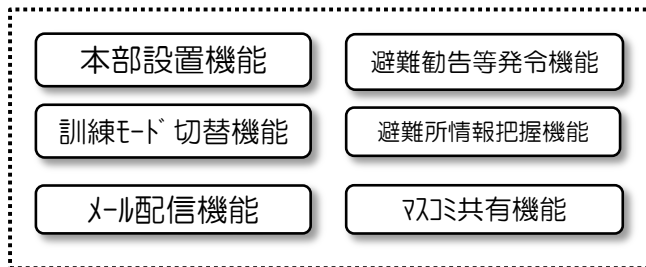
多言語
発信機能



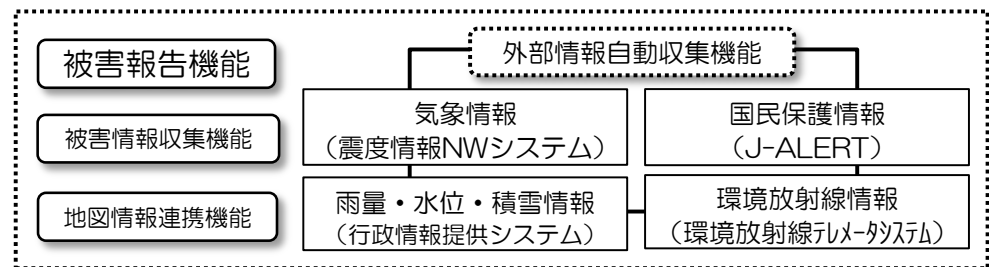
子育て家庭
向けチャ
ネル開設



機能は維持し、統合



※(旧)防災情報コントロール・メール配信システム(クラウド化非対応)



※(旧)災害情報収集共有システム(WebEOC)(クラウド化非対応)

整備後

①クラウド化による強靱化

②現行システムを新システムに統合し機能を追加